令和５年度採用獣医師募集パンフレット

NOSAI北海道
みなみ統括センター

みなみ統括センターで働いてみようか！

Why don't you like to use your skills in HOKKAIDO ?

「北海道」って どんなところ？

北海道はご存知、日本最北端の都道府県。四方を太平洋、日本海、オホーツク海に囲まれ、雄大かつ変化に富む山岳、広大な湿原、美しい景観の天然湖沼などにより形成されています。北海道の面積は四国と九州の面積を合わせたより広い面積で、オーストリアとほぼ同じ面積です。北海道には独特の「振興局」があり、14エリアに分けています。

北海道の約7割が森林面積で、自然環境に恵まれる大地です。気候は全体的に低温で、夏が短く、冬が長く、西部では冬に雪が多く降ります。梅雨がなく、台風も滅多に上陸しないのが特徴。

最低気温が0度未満（冬日）が135日ほど、最高気温が0度未満（真冬日）が50日ほど、年平均気温は10.0度程度です。エリア別で見ると、日本海側は積雪量が多く、オホーツク海側は日照時間が長く降水量は少なく、太平洋側東部は夏季に海霧が発生し低温、太平洋側西部は比較的温暖で積雪量も少ないのが特徴です。寒暖の差があることにより、四季折々の美しい風景と食べ物の美味しさは海外から観光客が大勢来るほど人気があります。

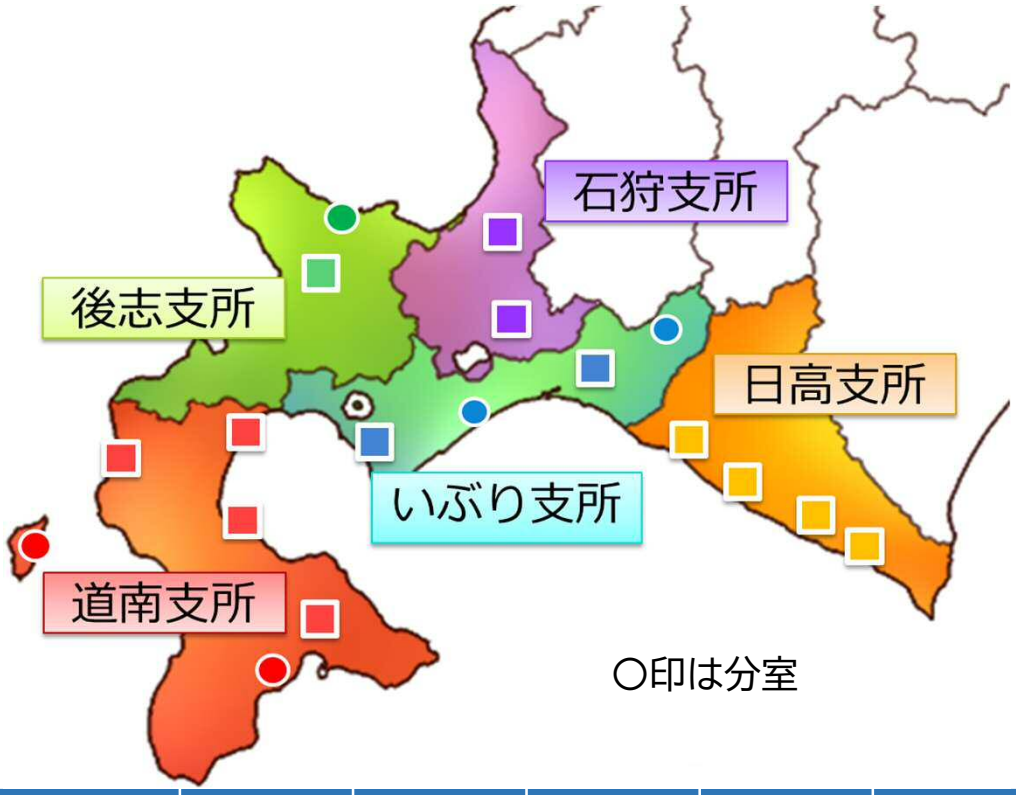
日本では北端に当たりますが、世界ではアメリカ・ヨーロッパの主要都市（シカゴ・ローマ・マルセイユ）とほぼ同緯度にあります。
新鮮な海の幸、さまざまな山の幸を味わえます。また大自然の中でラフティング・スキー・スノーボード・登山・ボルダリング・サーフィン・バードウォッチング・乗馬などのアウトドアを楽しめる魅力ある土地です。

「北海道の農業」の特色

北海道は地域的に広く、立地条件が異なり、それぞれ特色のある農業が展開されています。みなみ統括センター管内は、南は函館から東はえりもまで地域によって気候が異なり多様な農業を営んでいます。道南地域の、渡島半島では最も温暖な気候に恵まれ野菜や稲作を中心に集約的な農業が営まれ、後志地方は果樹・畑作地帯として発展しています。

道央地域では、石狩川水系により豊富な水資源と比較的温暖な気候を利用して、稲作を中心に野菜などが盛んに展開しています。胆振・日高地方は肉用牛・軽種馬などの特色がありますが、施設野菜などの生産もされています。

みなみ統括センターを数字で見てみよう



		石狩支所	後志支所	道南支所	いぶり支所	日高支所	合計
診療所数		2	2	6	4	4	18
診療回数	乳牛	25,173	15,330	74,167	32,867	29,600	177,137
	肉牛	5,171	4,792	32,158	57,203	42,415	141,739
	馬	385	126	1,412	3,382	80,162	85,467
	豚	45	14	31	72	2	164
	合計	30,774	20,262	107,768	93,524	152,179	404,507
人工授精回数		9,703	10,087	31,902	12,490	19,502	83,684
受精卵移植回数		240	41	928	178	712	2,099
獣医師数	男性	13	6	37	20	25	101
	女性	5	5	13	6	15	44
	合計	18	11	50	26	40	145

みなみ統括センターは、北海道の６振興局にまたがり、
面積は東京都の約10倍、22,922㎢となります。
５支所、１８か所（分室を含む）の家畜診療所があり、
合計145名の獣医師が診療を行っています。

令和５年度（４月採用）の募集人数と応募方法

１．募集人数　　１１名

支所	募集人数（人）	
石狩	0	１１
後志	0	
道南	7	
いぶり	1	
日高	3	

２．応募方法

令和４年４月に北海道内の５組合が１組合に統合して
北海道農業共済組合（ＮＯＳＡＩ北海道）が発足しました。
組織は１つになりましたが、獣医師職員は、統括センター
（旧組合）単位に募集します。

みなみ統括センターでは、就職を希望する支所を選択して
応募していただきます。
（第１希望　〇〇支所、第２希望　△△支所）

募集要項等、採用にかかわる詳細は、本会のホームページ
（https://www.nosai-do.or.jp/）でお知らせします。

石狩支所

石狩の総面積は、鳥取県とほぼ同じ面積

石狩支所事務所　石狩北部家畜診療所

診療車(4WD)で 往診先に向かいます

診療はマジメに。　カメラ目線で☺

北海道の空の玄関口である新千歳空港を南端として、人口196万人の札幌市を抱えた東西70Ｋｍ、南北120Ｋｍをエリアとしています。
石狩支所管内は都市と純農村の混合型農業が展開されています。
石狩管内の北部・中部では春から秋にかけて晴れる日が多く、比較的温暖な日本海側の気候です。南部では曇りや霧の日が多く、気温がやや低めの太平洋側の気候となっています。冬は、北部・中部は降雪量も多く、南部は比較的晴れる日が多く降雪量は少ない地域です。
管内の耕地面積は41,500ｈａで水稲主体の耕作体系でしたが、近年は転作田での麦・畑作物の栽培、露地野菜及び施設園芸での花卉や野菜の栽培が増加しております。
また、酪農も盛んな地域です。
管内は政令指定都市・札幌の大消費地と新千歳空港を抱えていることから、農産物直売所及び観光農園等も盛んで、季節に応じたフルーツ・野菜の収穫体験は好評を得ています。

後志の総面積は山梨県の総面積を上回っています。

後志管内は、春から夏にかけては温暖で晴天に恵まれる日が多いものの、冬は北西の季節風を受け、降雪量が多いのが特徴です。
景観に優れ、史跡・伝統文化に富んだ日本海の海岸線、雪質の良さで世界有数のスキーリゾートとして知られるニセコアンヌプリ、豊富な湧出量を誇る数多くの温泉、そして新鮮な山海の幸、おいしい水など、多くの観光資源に恵まれており、年間約2,300万人の観光客が訪れる本道を代表する観光エリアとなっています。
雄大な自然をフィールドにしたラフティング、カヌー、登山、フットパス、サイクリングなどの各種アウトドアスポーツやハム・ソーセージ作り、果物狩り、ジャガイモ掘り、工芸品作りなど、多種多様な体験型観光も充実しています。主な見所・名所としては、小樽のシンボル的存在である「小樽運河」、富士山に似た姿から蝦夷富士とも称される「羊蹄山」、日本海の雄大な眺めを楽しむことができる「神威岬」などがあります。
蘭越・共和の水稲、羊蹄山麓の畑作物・野菜、北後志の果樹、南後志の畜産など幅広い生産活動が行われており、さながら「北海道農業の縮図」と呼べる特徴があります。

牧野での診療もあります

地域別の特徴としては、北後志地区は果樹・野菜の栽培割合が高く、共和町はメロンとスイカの特産地となっています。羊蹄山麓地区にはばれいしょ・てん菜を中心とした畑作地帯が広がり、食用ゆり根と大根の生産も盛んです

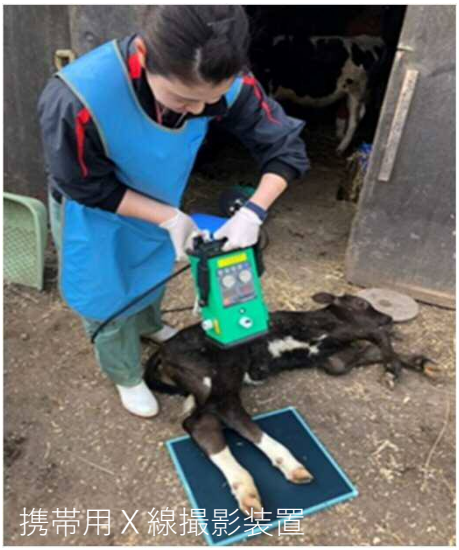
新しくなった後志家畜診療所

新しい手術室

道南支所

道南支所は振興局が2つあります。左の檜山は、佐賀県よりやや大きく、右の渡島は、長崎県の広さに匹敵します。

道南支所 事務所



携帯用X線撮影装置

直腸検査にエコーカメラを使います

北海道南西部に位置する渡島半島は、南を津軽海峡、東に太平洋、西は日本海に面しており、古くから北海道の玄関口として知られています。管内の農業は、渡島半島を縦断する1,000m級の山脈によって農耕地が分散されているため、一戸平均の耕地面積は4haほどと全道平均を大きく下回ってはいますが、温暖な気候を生かした園芸作物の生産が盛んで、トマトや長ねぎ、にら、だいこん、にんじん、ほうれんそう、かぼちゃ、カーネーションは、全道でも有数の生産量を誇っています。また道南地域で品種開発された米の「ふっくりんこ」は、北海道の高級ブランド米として評価され作付けが拡大しているほか、早出しの馬鈴しょや高級銘柄の大豆、りんご、プルーンなどの果物なども、地域の気象条件を最大限に活用した特徴ある品目として高い評価を得ています。

さらに、渡島北部の酪農、駒ヶ岳山麓の養豚や養鶏、大沼や函館市周辺の肉用牛など、酪農畜産業も盛んです。水稲をはじめ馬鈴薯・豆類や施設園芸・果樹等、多様な農業を展開しています。

北海道稲作の発祥地は大野村（現：北斗市）で、日本で最初に西洋りんごが栽培された町は七飯町です。また渡島北部を中心に酪農も盛んで、特に八雲町は「北海道酪農発祥の地」としても有名です。

「ネコあんか」で療養中

厚真町
Atsuma Town

胆振の総面積は奈良県とほぼ同じ大きさとなっています。

いぶり支所 事務所

胆振（いぶり）は北海道の中南部に位置し、東部地域は砂浜沿いの平坦地から石狩平野へと広がる勇払平野をはさんで、西に樽前山、支笏湖、東は日高山脈へと続いています。西部地域はほぼ中央に洞爺湖、有珠山があります。
夏の蒸し暑さはなく、冬は山間部の一部を除き残雪量も少なく、北海道の中では比較的温暖で暮らしやすい地域です。
胆振は道央の農業地帯に位置しており、東部の勇払平野や、西部の洞爺湖周辺の台地を中心に、冬温暖、夏冷涼な気候を活かして、「北海道で採れて胆振で採れない農作物はない」と言っても過言でないほどバラエティに富んだ農業が営まれています。胆振東部は水稲が中心作物で、野菜、畑作物、花き、酪農、肉用牛（黒毛和種）、軽種馬なども生産されています。胆振西部は露地野菜、高級菜豆、果樹、稲作や施設園芸など多種多様な農作物を生産しています。
豊浦町の「イチゴ」「SPF豚」、洞爺湖町の「施設野菜」、壮瞥町の「果樹」、伊達市の「野菜」、白老町の「白老牛」、苫小牧市の「ホッキ」、安平町の「アサヒメロン」、厚真町の「ハスカップ」、むかわ町の「ほべつメロン」「ししゃも」など、おいしい食べ物が豊富な地域です。

乳牛の手術

今は亡き**ディープ インパクト**
安平・社台スタリオンにいました

日高支所

日高の総面積は和歌山県や福岡県にほぼ匹敵する広さとなっています。

日高中部家畜診療所

日高は、本道の中央南西部に位置し、南北に連なる日高山脈とほぼそれに並行して走る海岸線に挟まれた長方形の地理的条件にあります。
北東は日高山脈を境に上川・十勝地方に、北西は胆振地方に接しており、南は太平洋に面しています。道内でも雪が少ない地域で、近年は道外から移住し、新規就農をする方が増えています。
国内生産頭数の約80％を占め全国一を誇る軽種馬をはじめ、稲作や酪農、肉牛、施設園芸などが行われています。「びらとり和牛」「みついし牛」「えりも短角牛」などの和牛が有名です。また、施設園芸ではトマト、イチゴ、ピーマン等の栽培が盛んです。一方、トキシラズ・ウニ・カニ・昆布などの海の幸も豊富です。
家畜高度医療センターは、二次診療施設として最新の検査機器を積極的に導入し、高度な医療技術を提供できる手術室などを設置し、道内外から依頼される患畜にも対応しています。

生れたばかりの当歳馬

繁殖クリニックで
エコーカメラを使って診察

ADVANCED MEDICAL CARE

家畜高度医療センター
更なる高みを目指して

家畜高度医療センターは、二次診療施設として、現場ではできない重症例・手術を行っています。
さらに、産業動物臨床獣医師を目指す学生の実習や、他地域のＮＯＳＡＩやＪＲＡをはじめ国内外の関係機関から臨床獣医師を受入し、技術研修を行いスキルアップに貢献しています。
令和２年度には宿泊施設（研修寮）を新築しました。

家畜高度医療センター（本館）
新ひだか町三石

手術の様子

帝王切開　立位　左腰部切開

全身麻酔下での手術

気管挿管

手術中

みなみ統括センター
卒　後　教　育

- みなみ統括センター独自の卒後教育プログラム「獣医師教育プログラム指針」に沿って、「チューター・メン　ター制度」を活用しながら新人獣医師の教育を行います。仕事の仕方・学習方法・悩み事などの精神面・日常生活など、広範囲にわたり相談に応じ、支援を行います。
- 「獣医師教育プログラム指針」は、新人獣医師はもとより、中堅獣医師の卒後教育のスキルの確認を行うとともに出来ない項目があれば組織全体で協力して出来るようにするための教育を行います。診断・治療技術の習得を個人の習得ペースに合わせて進めます。
- 積極的に、研修会・講習会・勉強会・学会等に参加してもらいます。
- 支所内、診療センター内での講習会・勉強会・発表会も盛んに行われています。
- 獣医師全員でスキルアップを図っています。

みなみ統括センター診療等体験発表会

みなみ統括センターとして年１回開催。発表会を独自に開催している支所もある。

関係団体主催の研修会

関係団体主催の研修会

大学等から講師を招いて
特別講義を開催します。

医療機器・診療設備

最新の機器などを使い 的確な診断をします

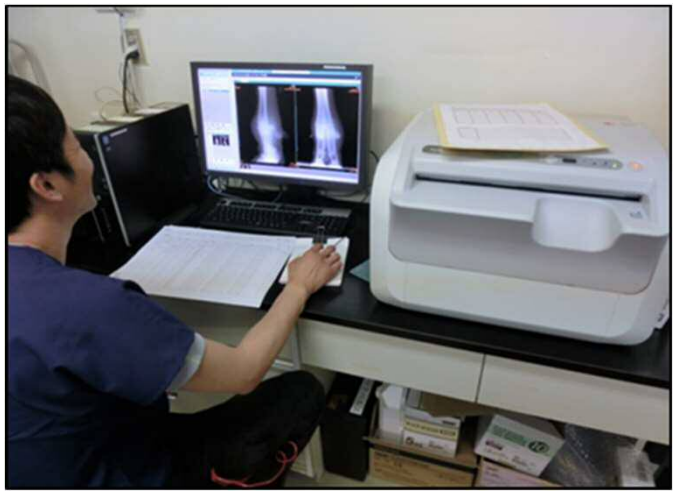
【アイスタット携帯式血液検査器具】

【携帯用超音波診断機器】

【臍静脈炎（膿瘍）の診断、摘出手術の準備】

【高性能超音波診断装置】

【ポータブルＸ線診断装置による撮影】



【ＣＲ（Ｘ線診断装置）による骨折の診断】

NEW FASE

スタートラインに立つ若駒たち！（令和３年4月1日入組式）

穴吹　ひかる

帯広畜産大学　令和３年卒
いぶり支所　東部家畜診療所

診療所の紹介と近況

私は、厚真町にある、いぶり支所の東部家畜診療所で働いています。働き始めてちょうど一年が経ちますが、入組当初の頃と比べると、一人で診療を回れるようになり、できることがだいぶ増えたと感じています。しかし、まだできないことや知らないこともたくさんあるので、周りの先生方に教えてもらいながら、日々成長していけるように努力を重ねていきたいと思っています。

後輩へのメッセージ

私は、非常に不器用で、飲み込みも遅く、人とのコミュニケーションも得意なほうではないですが、いつも温かく見守ってくださる農家の方々、時に優しく時に厳しく指導してくれる先生方の支えがあって、この一年間頑張ってこられました。同じような不安をもつ後輩もいると思いますが、大丈夫です。周りの方々に支えてもらいながら、自分のペースで着実に成長していけると思います。

（写真右：ちょっと離れたトマムスキー場に遠征）

石川　千遥

日本大学　令和３年卒
日高支所　西部家畜診療所

診療所の紹介と近況

私の働いている日高西部では、黒毛和種、ホルスタイン、サラブレットの生産が盛んで、いろいろな家畜を診療しています。入組当初は牛だけでも覚えることが多く、牛と馬両方診られるようになるのだろうかと1年後の成長度合いが心配でした。ですが、できることから徐々に達成していくと、たまに先輩に助けてもらうことはありますが、今では一人で往診できるようになり、やりがいを感じています。診療所内は明るい雰囲気で、獣医師だけでなく、人工授精師、事務職の方々とも話しやすいです。

後輩へのメッセージ

大学では貴重な授業・実習が多かったなと思います。就職してから役に立っており、もう少し細かくメモを取っておけばと後悔することもあります。他には実習に積極的に行くことです。職場の雰囲気を体験し、先生にやりがいやどのようにスキルアップしてきたかなど聞いてみるといいかもしれません。

小柴　紅美

日本獣医生命科学大学　令和３年卒
日高支所　東部家畜診療所

診療所の紹介と近況

東部家畜診療センターは獣医師の方がみなさん優しく、丁寧に教えてくださります！事務の方や人工授精師の方々も分け隔てなく仲良く、明るい雰囲気です！新人の私としては質問疑問や困ったことなどすぐに相談できる環境です！また飲み会なども誘ってくださるので公私ともに素敵な環境に恵まれています！

後輩へのメッセージ

大動物獣医師として馬と牛を十分に診療できるし、人としても農家さんとの人間関係を築きながら臨床スキルを磨くことができると思います！また優しい先生方のおかげでミスや失敗をしても次に必ず活かそうと思える精神が鍛えられます。

川口　敦史

酪農学園大学　令和３年卒
道南支所　東部家畜診療所

診療所の紹介

私の働いている八雲町は近代酪農発祥の地とされ、酪農業がとても盛んな町です。日々牛たちの診療と人工授精業務を主に行っています。入組したばかりの頃は初めての土地で初めての仕事、右も左もわからない状態でしたが温かい先輩方のご指導もあり、1年が経とうとしている今一人での診療を任せてもらえるまでになれました。信頼される獣医師になれるよう経験を積む日々を送っています。

後輩へのメッセージ

就職後、家族や友人と離れて新生活を始めることに多少の不安を抱える方は多いと思います。ですが先輩方や農家さんは温かく迎えてくれますし、同期同士での支え合いもあります。気負うことなく大学での授業や実習に励んでほしいです。

NOSAI SMILE

職場の仲間と
エンジョイ

昼休みの囲碁でスマイル

ソフトボール大会後
ヤキニクでスマイル

ソフトボールでスマイル

研修会で仲間とスマイル

海岸のヤキニクパーティーでスマイル

スキーでスマイル（ニセコ）

We Live in Here

最新情報はNOSAI北海道のＨＰで発信しています。

https://www.nosai-do.or.jp/

NOSAI北海道
獣医師採用情報のページへ

お問い合わせは人事部人事グループまでお願いします。

saiyou@nosai-do.or.jp